



平成28年4月14日熊本県熊本地方を震源とする 地震に関する鳥取県災害情報連絡会議

【日 時】 平成28年4月15日（金）10：30～

【場 所】 災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）等

【参加者】 *総合事務所等TV会議での参加者を含む

知事、副知事、統轄監、危機管理局、元気づくり総本部、総務部、
地域振興部、観光交流局、福祉保健部、生活環境部、商工労働部、
農林水産部、県土整備部、会計管理者、企業局、病院局、
教育委員会、東部振興監、中部総合事務所、西部総合事務所、
警察本部

目的

熊本地方を震源とする地震の被害状況と
本県の支援等を確認するもの

次第

知事挨拶

- 1 地震の概要等について
- 2 被害状況等について
- 3 国等の対応状況について
- 4 本県の支援について

1 地震の概要等について

◆地震の概要(初回)(気象庁調べ)

- (1)発生日時:平成28年4月14日 21時26分頃
- (2)震央地名:熊本県熊本地方
(北緯32.7度、東経130.8度)
- (3)震源の深さ:約11km(暫定値)
- (4)規模:マグニチュード6.5(暫定値)
- (5)最大震度:震度7〔熊本県益城(マシキ)町〕

1 地震の概要等について

◆ 地震の回数(気象庁調べ)

○総回数(震度1以上)

初回から4月15日9時まで 121回

○うち最大震度4以上の回数

震度	回数
7	1
6強	1
6弱	1
5弱	2
4	16

2 被害状況等について

◆ 被害の状況 消防庁(第11報)(4月15日8時30分)

【熊本県の把握状況】

死者9名、重症53名、軽症712名

【各消防本部からの報告】

(1) 宇城広域連合消防本部(宇城市、宇土市、美里町)

救助1件(救出済)、救急13件

(2) 上益城消防組合消防本部(嘉島町、甲佐町、御船町、山都町)

重症1名、軽症9名、程度不明3名

火災2件(鎮火済)、救急57件

2 被害状況等について

(3) 熊本市消防局(熊本市、西原村、益城町)

死者9名(熊本市1、益城町8)

熊本市:60歳代女性

益城町:20歳代男性

50歳代女性

60歳代男性

80歳代男性

年齢不詳男性

50歳代女性

年齢不詳女性

年齢不詳女性

行方不明8名

家屋倒壊5件、閉じ込め8件(救出済み)

火災1件(鎮火済)、救助20件、救急30件

2 被害状況等について

- (4) 八代広域行政事務組合消防本部(氷川町、八代市)
救急14件
- (5) 阿蘇広域行政事務組合消防本部(阿蘇市、南小国町、
小国町、産山村、高森町、南阿蘇村)
救助1件
- (6) 菊池広域連合消防本部(菊池市、大津町、合志市、菊陽町)
救助1件、救急9件
- (7) 原子力発電所・コンビナート等の情報
 - ・川内原子力発電所(鹿児島県) 被害なし
 - ・玄海原子力発電所(佐賀県) 被害なし
 - ・八代地区コンビナート(熊本県) 被害なし

2 被害状況等について

◆ 避難所の状況 消防庁(第11報)(4月15日8時30分)

熊本県内505箇所、44,449名(15日5時00分現在)

熊本市避難所:80箇所の避難所開設(小中学校等)

益城町避難所:福祉保健センターハピネス

グランメッセ

広安小学校体育館

飯野小学校

益城中央小学校

愛児園

2 被害状況等について

◆ 鳥取県職員に関する安否確認

県の派遣職員及び出張者

- ・九州各県の派遣職員はなし
- ・熊本県、鹿児島県、大分県へのお出張者なし
- ・宮崎県へのお出張者の安全確認済み

教育委員会から九州各県へのお派遣職員なし

3 国等の対応状況について

◆政府の対応〔4月14日(木)〕

○21:31 官邸対策室設置

○21:36 総理指示

⇒早急に被害状況を把握すること

⇒地方自治体とも緊密に連携し、政府一体となって、災害応急対策に全力で取り組むこと

⇒国民に対し、避難や被害等に関する情報提供を適時的確に行うこと

3 国等の対応状況について

- 21:55 緊急参集チーム協議
- 22:10 非常災害対策本部設置
- 23:21 非常災害対策本部会議(第1回)
開催

3 国等の対応状況について

緊急消防援助隊の対応

4月15日8:00現在の緊急消防援助隊の活動状況

①陸上隊 福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県、
佐賀県、長崎県

②航空隊 福岡市へり(2機)、高知県へり(1機)

※出動隊総計 148隊569人

(内訳)

指揮支援部隊5隊22人

陸上隊(統合機動部隊)140隊531人

航空隊3隊16人

3 国等の対応状況について

◆DMAT(災害派遣医療チーム)の対応

(1)待機要請の状況

日本DMAT活動要領に規程する自動待機基準に該当したため、発災と同時に全国DMAT自動待機。

(2)派遣要請の状況

○派遣要請都道府県

4/14 00:54 熊本県→厚生労働省DMAT事務局→各県へ派遣要請

派遣対象県:福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県

(3)DMAT活動状況

○DMATチーム数 276+救護班 4 = 280

活動中 42 移動中 27 待機中 72 準備中 139

○拠点・本部関係

参集拠点 1(熊本赤十字病院)

DMAT都道府県調整本部 3(長崎、熊本、宮崎)

活動拠点本部 2(熊本赤十字病院、熊本県益城町役場)

3 国等の対応状況について

◆広域支援

①全国知事会

- ・被災情報等の収集・連絡事務を迅速・的確に行うため
「災害対策都道府県連絡本部設置」
- ・静岡県が個別協定に基づきリエゾン2名を派遣した。
※中国・四国地方知事会は、九州地方知事会への
応援の第一順位

②関西広域連合

- ・大分県庁へ先遣隊の派遣(23:00出発、3名派遣)
- ・7:20大分県庁到着し、情報収集中

4 本県の支援について

(1) 危機管理局の対応

地震発生直後から、危機管理局の職員が情報収集している。

(2) 鳥取県緊急消防援助隊の派遣

- ① 陸上隊…出動対象外
- ② 航空隊…出動準備対象

※現時点で消防庁長官から本県の航空隊への出動要請はないが、消防防災航空センターでは、15日の夜明けから出動準備をし、待機中。

4 本県の支援について

(3) 鳥取DMATの派遣

①待機要請の状況

日本DMAT活動要領に規程する自動待機基準に該当したため、発災と同時に全国DMAT自動待機。

②派遣要請の状況

04/14 23:44 九州・沖縄ブロックを除くDMATの待機要請が解除。

③DMAT活動状況

○県内DMAT指定医療機関4病院で、発災と同時に自動待機開始。

○待機チーム数 5

- ・県立中央病院 1チーム(5名)
- ・鳥取赤十字病院 1チーム(6名)
- ・県立厚生病院 1チーム(5名)
- ・鳥取大学医学部附属病院 2チーム(8名)

○いずれの病院も10数名病院で待機していたが、23:30前後に自宅待機に切り替え。自宅待機にするものの、即応体制は維持。

4 本県の支援について

(4) 広域緊急援助隊(県警)の派遣

4 本県の支援について

(5) 関西広域連合としての支援

(人的・物的)

- 大分県庁へ先遣隊の派遣(23:00出発、3名派遣)
- 7:20大分県庁到着し、情報収集中

4 本県の支援について

(6) その他の支援

① 人的支援

- 建築物応急危険度判定士、宅地危険度判定士の派遣
- 医療救護班の派遣
- 保健師の派遣
- 避難所運営等に従事する職員の派遣
- 職員災害応援隊の派遣
- 鳥取県災害ボランティア隊の派遣

4 本県の支援について

②物的支援

- ・備蓄物資(水、食糧、毛布等)の供給

③見舞金贈呈